

平成 30(2018) 年度第 1 回県西構想区域病院及び有床診療所会議会議記録

- 1 日 時 平成 30(2018) 年 8 月 7 日 (火) 20 時から 21 時 00 分
- 2 場 所 栃木県庁上都賀庁舎 5 階大会議室
- 3 出席者 上都賀郡市医師会 新沢会長
上都賀郡市医師会 大久保副会長
管内病院及び有床診療所管理 (別紙のとおり)
栃木県医師会 太田会長 (オブザーバー)
事務局

4 議事

県西地域医療構想調整会議の議長である新沢上都賀郡市医師会会長が議長を務めた。

(1) 病院及び有床診療所会議等の進め方について

県西健康福祉センター大塚所長補佐兼総務企画課長から、配布資料により次の項目について説明し了承された。

- ア 地域医療構想調整会議の開催
- イ 病院及び有床診療所会議の設置及び開催
- ウ 医療機関の方向性の確認

(2) 医療機関に対する意向調査の実施について

県西健康福祉センター小林副主幹から、配布資料により説明し了承された。

【主な質疑】

(新沢議長：上都賀郡市医師会会長 新沢外科)

示された医療機関意向調査票の様式に手書きする場合は、紙が小さくて書き切れな
いはどうしたらよいか。

(事務局)

拡大した様式を送付したい。

5 報告事項

県西健康福祉センター小林副主幹から、報告事項についての配布資料のうちの、次の

(4) ～ (6) の項目について説明した。

- (4) 地域医療介護総合確保基金について
- (5) 病床機能報告結果について
- (6) 県西地域医療構想区域における医療機関の動向

(7) 日光地域の医療連携に関する勉強会について

医療政策課田中主査から、配付資料により説明した。

【主な質疑】

(上都賀総合病院 十川病院長)

獨協日光医療センターが日光市土沢に移転するというのを聞いており、それと
ともに、日光市内の医療提供体制をどのようにするかについて、地域医療連携推進
法人を設立して、参加医療機関がそれぞれの役割を協議していくということである
と思うが、獨協日光医療センターが移転すると上都賀総合病院にも大きな影響があ
る。

移転後の獨協日光医療センターは約 200 床の病院と聞いているが、安定的に運営するためには、診療報酬としては 40 億円以上確保する必要があると推定される。

移転場所が日光市内の鹿沼により近い位置であり、また、資料では日光市内から鹿沼市内の医療機関に入院している患者が 1 日に 24 名いるとのデータもあり、そのうち大部分が上都賀総合病院に入院していると考えられる。

上都賀総合病院の実績では、入院外来患者の約 10 %が日光市内の住民であり、年間約 80 億円の診療報酬のうち、約 8 億円分が日光市民の診療報酬となっているので、仮にその分が失われるとすれば、この地域の中核的医療機関である上都賀総合病院の経営に大きな影響があることから、二次医療圏全体でよく議論してほしい。

獨協日光医療センターが移転する予定の土沢は、上都賀総合病院から 15 km の距離にあるが、病院同士が競合する距離にあり、どちらの病院にとっても経営上大きな脅威となる。日光市民を対象とした医療機関なのだから、日光市民がよく利用できる位置に移転すべきである。

日光市の人口が、30 年後には約半分になると推計されているが、仮に病院の借入債務の返済期間が 30 年だとすると、その期間中に患者が半分になることを意味している。

地域医療を維持していくためには、病院の経営の安定が非常に重要であることから、それらを踏まえて、二次医療圏全体で十分検討する必要がある。

(医療政策課)

獨協日光医療センターについては、日光市議会全員協議会において、日光市土沢に移転することが明らかになっている。また、今市病院も移転する計画があると聞いており、どのように影響が及ぶか日光地域の勉強会等で検討していきたい。

(上都賀郡市医師会 大久保副会長)

他地域の患者流出状況はどのようになっているか。また、地域医療連携法人設立により行える事業として 10 項目あるが、日光地域の勉強会参加医療機関は関心をもっているのか。また、鹿沼市内の医療機関にも大きな影響があることは確実だが参加が可能なのか。

(医療政策課)

患者の流出については、地域医療構想では、他の医療圏から 2 つの大学病院がある県南医療圏への患者の流出が顕著になっている。

地域医療連携推進法人の 10 項目の事業については、勉強会参加医療機関からのアンケート結果によると、「医療従事者のスキルアップのための共同研修」と「市民向け普及啓発事業の共同実施」に関心を示しているところが多い。

法人に対する鹿沼市内の医療機関の参加については、現状では、人口減少が著しい日光地区に限定して参加を募っている。

【主な意見】

(新沢議長)

地域医療構想については、県西地域の医療提供体制について各医療機関が歩み寄って実現していくことが重要である。また、地域医療連携推進法人の設立については、鹿沼市内の医療機関の意見等も取り入れながら検討を進めていく必要がある。

(上都賀郡市医師会 大久保副会長)

地域医療連携推進法人の 10 項目の事業について、参加医療機関の意向を整理して議論を進めていく必要がある。

平成30(2018)年度第1回県西構想区域病院及び有床診療所会議 出席者名簿

平成30(2018)年8月7日

	医療機関等名	役職名	氏名	備考
医師会	上都賀都市医師会	会長	新沢 敏章	
		副会長	大久保 昌章	
病院	上都賀総合病院	病院長	十川 康弘	
	鹿沼病院	病院長	駒橋 徹	
	御殿山病院	総務課長	山田 大介	
	足尾双愛病院	事務長	山越 正之	
	今市病院	病院長	熊谷 眞知夫	
	大沢台病院	事務長	青木 宏行	
	川上病院	理事 理事	加藤 保 前島 史人	
	獨協医科大学日光医療センター	統括管理者 病院長 事務部長	中元 隆明 原澤 寛 景山 善久	
	日光市民病院	管理者	宮崎 勝	
	日光野口病院	事務長	熊谷 信之	
	森病院	病院長 看護部長	森 亮善 駒場 悦子	
有床診療所	荒木医院	院長	荒木 純一	
	大野医院			欠席
	鹿沼脳神経外科	院長	志田 直樹	
	小林産婦人科医院			欠席
	竹村内科腎クリニック	院長	竹村 克己	
	つつみ眼科クリニック			欠席
	細川内科・外科・眼科			欠席
	吉澤眼科医院	院長	吉沢 徹	
	阿久津医院			欠席
	亀森レディースクリニック	院長	亀森 哲	
見龍堂クリニックかわせみ			欠席	
見龍堂医療福祉総合クリニック	事務長	五味 洵和人		

【事務局】

職	氏名
栃木県医療政策課長	吉澤 敏弘
〃 主幹	渡辺 晃紀
〃 係長	松島 靖幸
〃 主査	田中 一齊
栃木県県西健康福祉センター所長	塚田 三夫
〃 次長	飯田 良雄
〃 所長補佐兼総務企画課長	大塚 良仁
〃 所長補佐兼健康支援課長	渡邊 悦子
〃 所長補佐兼健康対策課長	一色 ミユキ
〃 総務企画課副主幹	小林 明男
〃 総務企画課主事	星井田 彩季
栃木県今市健康福祉センター主幹兼所長補佐	福田 亮人

【オブザーバー】

一般社団法人 栃木県医師会	会長	太田 照男
---------------	----	-------